9月の指導計画　5歳児

保育目標	・休み明けなので、徐々に保育園での活動に切り替えられるよう導入を行う ・集団での遊びで、普段関わりの少ない友達とも交流を深める ・自然遊びや旬の食材に関する食育で、秋の訪れを感じる
先月の子供の姿	・夏バテで体調を崩す子供が多かった。一方月の後半においては、汗を拭いたり水を飲んだりして、自ら工夫して体温調節を行おうとする姿も見られた ・踊りの振付を教え合うなど、協力して夏祭りの準備を進めていた ・お祭り当日は音楽や踊りなどを通して、夏祭りの雰囲気を五感で味わい楽しんでいた

指導案		ねらい	保育内容	予想される子供の姿	環境構成
養護	生命	・熱中症対策を継続する ・非常時に命を守る方法を知る	・救急の日(9月9日)には怪我の処置や救急車の呼び方を学ぶ ・水分補給や休憩の大切さを伝える	暑さによる疲れや夏休み期間の生活リズムの崩れによって体調を崩す子供が出てくる	・空調を調節し、外気の温度が急激に変化し
	情緒	自らの感情を安定させる方法を身に着ける	子供たちが自分と向き合う時間を持てるよう、 個人活動の時間を多めに確保する	久しぶりの登園に不安を感じたり、 感情が高ぶってしまったりする	.保育士の見守りを欠かさず行い、また子供たちの呼びかけに対して素早く応答することで子供たちが安心して過ごせる環境を作る
教育	健康	子供たちが自身の体調変化に敏感になれるようにする	登園時や運動後に体調を報告してもらう	暑さには自ら対処できるが、 寒さには慣れず我慢してしまう	上着を用意してもらい、気温の変化に応じて着脱して体温調節できるようにする
	人間関係	周りの人に共感する能力を養う	・絵本を読む際には登場人物の気持ちに寄り添う呼びかけを行う ・けんかが起きたときには、お互いの感情を考える機会をつくる	休み明けに友達や先生と再開することで 人間関係の楽しさを実感する	子供が感情を言葉にできないときは、 保育士が感情を汲み取って言語化を補助する
	環境	季節の移り変わりによる環境の変化を楽しむ	・落ち葉や木の実を利用した、秋の自然遊びを行う ・旬の食材が使われた食事を味わう	秋の植物や昆虫に興味をもち、 自ら関わろうとする	子供たちが興味をもったものについてすぐに調べられるよう 分かりやすい場所に図鑑を配置する
	言葉	言葉の意味の理解を深める	・歌詞や絵本に出てくる言葉を取り上げみんなで意味を考える ・連想ゲームなど言葉の意味の理解を必要とする言葉遊びを行う	何気なく使っていた言葉の意味に注目し 理解しようとする	子供たちが発言しやすい雰囲気を作るため、 保育士が積極的に問いかけを行う
	表現	音楽に合わせて、全身を使った表現を楽しむ	運動会に向けて、ダンスや体操の練習を行う	・音楽に合わせて全身運動を楽しむ ・振付をマスターした後は、オリジナルの表現を模索する	・子供たちが楽しめる運動曲・ダンス曲を用意する ・子供たちが自由に表現できる場面を作る